

「ひよことにわとり よしよしたよ 喜んでくれて嬉しかったよ」

石井 月理 (いしい あかり) 5歳

西浦幼稚園

(山口教区)

●表紙のこたば●



ひよこは黄色、そんな概念的なイメージとは一線を画した表現です。卵からひよこが生まれた感動から始まり、日常的に抱っこをしたりお世話をしたりしながら全身、全感覚でひよこやにわとりと関わってきたのでしょう。次第に大きく成長していくひよこの羽根が黄色から茶色に変わっていることに気づき、その特徴をとらえて色を塗ったのです。そして、ひよこことわとりを、よしよしと撫でた手の感触と、その嬉しさを思い出しながら表現しています。

このように、あかりさんは、抱っこしたり、追いかけてっこしたりした具体的な関わりを通して得た発見や驚き、そして喜びなどを、伝えたいという気持ちを持って表現しています。よく「豊かな表現」と言われますが、それは使われている色彩の豊かさでも、画面いっぱい描かれている画面構成の上手さでもありません。この絵の持つ「豊かさ」は、描くことで伝えなかったことの「豊かさ」であり、その元となる体験の「豊かさ」そのものなのです。

おおはし いさお  
大橋 功

岡山大学学術研究院  
教育学域